

平成26年第8回定例教育委員会

平成26年8月26日(火) 午後2時00分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川	清	明	説明員	教育部長	斉	藤	俊	彦
	委員	上	野	聡		志	学校教育支援室長			
	委員	郷		早	見		苜	谷		正
	委員	橋	本	幸	子	総務課長	大	村	勇	二
	教育長	月	田	健	二	総務課参事	三	富	一	義
						学校教育課長	伊	藤	忠	信
						学校教育支援室参事				
							浦	田	和	秀
							金	子	武	史
						給食センター長	福	井		洋
						対雁調理場長	鈴	木	正	春
						生涯学習課長	岩	渕	淑	仁
						情報図書館長	原	田	昭	彦
						郷土資料館長	小	林	則	幸
					欠席者	教育部次長	渡	部	文	司
						生涯学習課主幹	佐	々	木	倫
					記録員	総務課総務係長	近	藤	澄	人
					傍聴者	1名				

1 報告事項

(1) 江別市立学校学校評議員の委嘱について

2 審議事項

平成26年議案第44号

平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

平成26年議案第45号

平成27年度に使用する中学校用教科用図書の採択について

3 その他

○各課所管事項について

(1) 青少年キャンプ村こんがり王国の開催結果について

○次回教育委員会予定案件について

○平成26年第9回定例教育委員会の日程について

会 議 録

<p>長谷川委員長</p>	<p>(開会) それでは、ただいまから、平成26年第8回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を上野委員さんをお願いいたします。 それでは、議事に入ります。1の報告事項(1)平成26年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についての報告を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p>
<p>伊藤学校教育課長</p>	<p>報告事項1学校一斉公開におけるアンケート結果についてご報告いたします。 学校一斉公開は、平成14年度から、「地域に開かれた学校づくり」をより一層推進するため、広く市民に学校の日常的な姿を公開し、理解していただくことで、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの成長を育むことを目的に実施しております。 資料の1ページをご覧ください。平成26年度第1回学校一斉公開を平成26年6月23日に実施しました。見学者数は、市内の公立小中学校、立命館慶祥中学校、札幌盲学校を含む市内全29校において、延べ1,200人でありました。昨年度同時期の見学者数1,189人から11人増加しています。 アンケートの回答は403件で、見学者の約3割に当たり、回答数は昨年より1割ほど減少しております。 アンケートの回答結果であります。1ページの問1、問2、問3に関しては、全体の傾向は昨年度の同時期と同じ傾向であります。右側の円グラフにありますように中学校に限りますと、問1で「見学した学校に家族がいない人」が、昨年度より24%増え、67%となっております。 問2では、「学校一斉公開に来たのが2回目以上という人」が10%増え、56%と、問3では、「他の学校を見学するという人」が25%増え、67%となっております。中学校に子供や孫がいなくても、複数の学校を見ている方が増えております。 2ページをお開きください。問6で「学校は地域に開放されていると思う」が、昨年より若干増えておりますが、そのほかの問4から3ページの問9までについては、昨年度と同様の傾向でありますのでご覧いただきたいと思っております。 なお、問6の「学校は地域に開かれていると思いませんか」と問7の「学校行事などに協力したいと思いませんか」については、それぞれ思わないと回答した方の理由を聞いており、9ページに記載しております。 4ページから8ページにかけまして、学校の印象、児童生徒の様子、さらに江別市の教育についてという三点について、自由に記述していただいたものを記載しております。その中には、子供たちも先生も挨拶がよい、授業に集中しているなどの意見が多くありました。その他の内容については記載のとおりでありますのでご覧ください。以上で、報告を終わります。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>ただいま報告のありました平成26年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>8ページにあるように、高等支援学校は必要だという意見が何件か出ているようなのですけれども、江別市としてはそういうお考えというか動きはあるのでしょうか。</p>
<p>苅谷学校教育支援室長</p>	<p>北海道札幌盲学校が大麻にありますけれども、本年度で閉校になりまして、来年度から空き校舎になります。その関係がございまして、誘致期成会を作り、期成会を通じまして、高等養護学校の誘致活動を市役所としても行っている状況にあります。誘致期成会は、市役所の企画政策部というセクションが中心になって行っています。 現在の状況をお伺いしておりますので、ご報告させていただきます。平成27年度の公立特別支援学校配置計画案の説明会が、各地区で行われている状況でございます。配置計画案というものは、平成27年度の特別支援学校の配置計画に関わるもの、そして、平成28年度の配置の見通しについて記載している内容とお伺いしております。</p>
<p>長谷川委員長 上野委員</p>	<p>説明会の中で質疑等がありまして、北海道からは、平成27年度は、札幌圏で3学級の開設を予定しており、既存校の空き教室を活用しての開設を考えている。平成27年度につきましては、札幌市内の開設を考えているとの答えがあったとお伺いしております。 ほかはありませんか。 6ページで、一部ヒステリックな先生がいたとありましたが、せっかく公開している日ですから、何かあったとしても、ちょっとにこやかにしてほしいと思います。校長、教頭</p>

上野委員	から注意していただきたいと思います。9ページで、駐車場が開放されていないという意見があるのは、普段から駐車場を使わせないという意味なのか、どういう意味合いで書いたかというのではありませんね。
伊藤学校教育課長	アンケートでこれだけしか書いていないので、背景は分からないのですが、学校には確認したいと思います。
上野委員	小学校で、保健室の先生は必ず毎日いてほしいという意見があるんですが、保健室の先生は毎日いるものではないんですか。
伊藤学校教育課長	通常は1名配置されているんですけども、具体的には確認しないと分かりませんが、小規模校では児童生徒の人数等で配置されない学校もございますので、その学校ではないかと思います。
長谷川委員長 郷委員	郷委員、どうですか。 学校一斉公開も、だんだん定着していると思っているんですけども、まだまだアンケートの中には、教室の中に入りづらいという意見が必ずあるということと、見学者がいると、子供たちの様子がちょっと変わるということで、せっかくの一斉公開なので、特別リッパサービスをするというわけではないんですけども、最低限教室の中には入りやすい環境をつくってほしいと思います。
長谷川委員長	先生たちにも、学校一斉公開の趣旨を理解していただいて、もう少し学校側も、うちの学校はこういうふうにしていますという宣伝をしたり、入りやすい教室、特別支援の話も必ず出ていますので、そういう部分に関して、見学に来てくださる方にもう少し分かりやすくしていただければと感じました。
橋本委員	今の郷委員に関連してですが、8ページの小学校の中ほどに、玄関が施錠されていてびっくりしました。参観しようと思って来ても帰ってしまう方もいるのではないかとあります。どこの学校かは、あとで確認してもらえればいいのですが、学校一斉公開は定着してはいます。中には、教頭先生をはじめ、出迎えてくれる学校もあり、受入体制が良くなってきていると思っています。そんな中で、学校間格差がまだあるのかなと思いますので、この辺は学校現場の責任者が出席する校長会、教頭会で徹底してほしいと思います。 そして、公開の際の時間割りですが、掲示している学校としていない学校があります。掲示していれば、ここの教室に行ってみたいと思って、教室へ向かうと思います。その辺りも、全学校統一したほうが、より効果があるのかなと思います。ほかはいかがですか。
伊藤学校教育課長	関連してですが、PTA役員が受付をしている学校があり、趣旨が分かりませんでした。鍵をする、しないも含めて、最初の質疑で、先生の対応についてもあったと思うんですけども、受付で学校の良し悪しを判断されることが多いと思います。その辺も信頼して、お任せしている学校もあると思いますが、不思議な感じがしました。それは各学校にお任せということなんでしょうか。 学校で行うことがいいと思いますが、通常どおり授業が行われている中で、学校の先生も授業が入ったり、ティー・ティーに入ったりすることもあります。学校によっては、今ご指摘があったように、PTAの方をお願いしているところもあると思いますが、先生も対応しているほうが望ましいと思います。
上野委員	先ほどの委員長の意見も踏まえまして、次回10月に学校一斉公開がありますので、直近の校長会で改めて周知・徹底したいと考えています。
長谷川委員長	もう一つ、せっかくの公開なのに、テストだけをしているという意見もあります。公開日が分かっているのであれば、先生に中身を組み立てて授業をやってほしいということも周知をお願いします。 それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)
伊藤学校教育課長	続いて、2の審議事項に入ります。平成26年議案第44号平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択についての説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。 議案第44号平成27年度から使用する小学校教科用図書の採択についてであります。現在、小学校で使用している教科用図書は、平成23年度から小学校の新学習指導要領が実施されたことに伴い、平成22年度に採択を行ったところであります。 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条の規定によりまして、採択した教科用図書の発行が行われないうなど特別な場合を除き、4年間、毎年度種目ごとに同一の教科用

伊藤学校教育課長	<p>図書を採択するものとされており、平成26年度まで同一の教科用図書を採択しておりました。</p> <p>今回は、平成25年度において、文部科学省が小学校の教科用図書の検定を行ったことから、平成27年度から使用する教科用図書を、石狩管内の7市町村で構成する第1地区教科用図書採択教育委員会協議会で共同採択されたことを受け、学校設置者である江別市教育委員会として、教科用図書の採択についての承認を求めるものであります。説明の都合上、3ページの参考資料、平成26年度第1地区教科用図書採択日程をお開き願います。</p> <p>今年度は、4月16日に第1回第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が開催され、規約・規則・共同採択に係る手続や、教科用図書の専門的な調査研究を行うための調査研究委員会と小委員会の設置について、協議されております。</p> <p>5月20日の第2回の協議会では、調査研究委員の推薦依頼や調査研究の内容等について協議されております。</p> <p>6月13日から7月2日までの実質14日間、教科書展示会を江別市教育庁舎及び江別市情報図書館にて実施しております。この間の来場者数は、教育庁舎には5人、情報図書館20人、合計25人となっており、11件の意見が寄せられております。これらの意見は協議会に提出し、採択協議の際に参考にされております。</p> <p>6月9日の第3回の協議会では、調査研究委員の決定や調査研究内容、協議会関係書類の公表等について協議されております。</p> <p>この調査研究委員会は、教科ごとに10の小委員会が組織され、総数で57名、江別市からは、学校関係者10名・学識経験者2名・保護者1名の13名が調査研究委員として委嘱されております。</p> <p>6月24日には、北海道教育委員会から採択参考資料の通知があり、協議会を通じて調査研究委員会に資料提供があったものであります。</p> <p>第1地区の調査研究委員会は、6月26日に第1回目が開催され、教科ごとの小委員会による専門的な調査研究や進め方等の確認、第2回目の7月28日及び29日に、調査研究報告書がまとめられたところであります。</p> <p>8月5日の第4回の協議会では、平成27年度から使用する小学校教科用図書の採択協議並びに種目ごとに決定が行われたところであります。その決定について、8月6日に協議会から江別市教育委員会に通知されております。</p> <p>この協議会において、採択が決定した教科書につきましては、2ページにあります平成27年度から使用する小学校用教科用図書採択協議結果一覧のとおりでございます。表の左側が教科種目で、中央の発行者の欄が平成27年度から使用する教科用図書の出版社を記載しております。</p> <p>なお、今回の採択によりまして、発行者が現在と変更になった教科用図書はなく、すべての種目において、現行と同じ発行者の教科用図書が採択されております。</p> <p>また、各種目の教科用図書の採択理由については、4ページ以降の平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択教科書名及び採択理由等についてのとおりでございます。以上、ご審議の上、ご承認いただきますようよろしくお願いいたします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、平成26年議案第44号平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成26年議案第45号平成27年度に使用する中学校用教科用図書の採択についての説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p>
伊藤学校教育課長	<p>議案第45号平成27年度に使用する中学校用教科用図書の採択について、説明いたします。</p> <p>平成26年8月5日に開催されました第4回第一地区教科用図書採択教育委員会協議会の決定に基づき、平成27年度に使用する中学校用教科用図書を採択したいので、ご承認をお願いいたします。</p> <p>平成27年度に使用する中学校用教科用図書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措</p>

伊藤学校教育課長	置に関する法律施行令第14条の規定によりまして、採択した教科用図書の発行が行われないなど特別な場合を除き、4年間、毎年度種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。
長谷川委員長	<p>既に、平成23年8月の教育委員会会議における採択の際に、選定理由書の内容を確認し決定していることから、平成23年に採択したものと同一教科用図書を採択するものであり、2ページに記載のとおりであります。以上、平成27年度に使用する教科用図書の採択について、ご審議お願いいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、平成26年議案第45号平成27年度に使用する中学校用教科用図書の採択についてを承認することにご異議ありませんか。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p> <p>各課所管事項(1)青少年キャンプ村こんがり王国の開催結果についての説明を求めます。岩渕生涯学習課長お願いします。</p> <p>青少年キャンプ村「こんがり王国」の開催結果についてお知らせいたします。</p> <p>8月4日から8月9日まで開催しました「こんがり王国」につきましては、最終的な参加者は659人でした。</p>
長谷川委員長	<p>大雨の影響により8月5日が中止となったため、当初申込みのあった732人より減りましたが、中止になった日の申込者の約半数にあたる89人が最終日に振替をして参加しております。期間中は、ほぼ毎日雨が降る、あいにくの天候ではありましたが、子供たちはキャンプファイヤーやゲームなどで盛り上がりおりました。以上です。</p> <p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(なし)</p>
大村総務課長	<p>次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、審議事項として、江別市いじめ防止基本方針の策定について、報告事項として、平成26年第3回江別市議会定例会の一般質問について、平成26年度小中学生国内交流研修事業についてなどを予定しております。</p>
長谷川委員長	<p>また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、9月25日木曜日、午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、予定案件と、次回の定例教育委員会は9月25日木曜日、午後2時からということで皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第8回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後2時36分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 上野 聡志